

No. 21【2012年8月24日配信】

「青森・温故知新塾2012」のお知らせ(担当:工藤)

こんにちは! 事務長の工藤大輔です。

みなさんは「青森・温故知新塾2012」をご存知ですか?

これは、「青森の歴史や暮らしを知り、これらからの地域社会を考える講座」で、編さん室と男女共同参画プラザとが共催する3回連続の講座です。



第1回「青森の歴史を知る
—『青森』、誕生」のようす

1回目は先月、「青森の歴史を知る—『青森』、誕生」というテーマで、私がお話をさせていただきました。平日の夜という時間帯にも関わらず、大変多くの方々にご参加いただきました。たくさんの藩政時代の絵図を展示しながら、「青森」の始まりの歴史をお話ししましたが、その時のようすは近々リニューアルされるホームページにアップされる……はず

さて、この講座の2回目が、いよいよ来月9月5日(水)に開かれます。テーマは「女性の暮らしを知る—女性の暮らしと祈り」で、講師はみちのく北方漁船博物館の学芸員石山晃子さんです。

なお、講座の前に、『新青森市史』別編民俗で石山さんが執筆した「生と死をつなぐカミ」(416~423ページ)に予習かたがた目を通していただくと、当日のお話がより一層愉しめるのではないかと思います(図書館、市民センター、働く女性の家などでご覧いただけます)。



会場はアウガの5階、男女共同参画プラザ「カダール」研修室で、時間は18時30分から20時30分までの2時間です。申し込み・お問い合わせは、青森市男女共同参画プラザ「カダール」(Tel 017-776-8800)までお願いいたします。

「青森・温故知新塾2012」チラシ

第1回「青森の歴史を知る—『青森』、誕生」のようす



江戸時代の開港当時の青森湊や青森の町並みなどがわかる絵図や解説パネル等の資料をもとに青森町の誕生等、青森の歴史についての講座を行いました。

第2回「女性のくらしを知る—女性のくらしと祈り」のようす



会場のようす



講師を務めた

みちのく北方漁船博物館の学芸員 石山晃子さん



四国八十八箇所や西国三十三所の巡礼を行う現代の人々の思いや、青森市における観音信仰・地蔵信仰などについての講義を行いました。